

日 付	2019年7月25日(木)	天 候	晴れ(場所により雨)
主な日程	GARTON TRACTOR , Sequoia & kings Canion National Park		
時 間	研 修 内 容	研修の写真	
8：20 FFAとの交流	高校は夏休み中でしたが、宿泊研修に出かけるFFAメンバーの代表10人と交流することができました。はじめに全体で名前を紹介し合い、その後個々に自己紹介をしました。私たちは事前に作ってきたカードを活用して自己紹介をしたり、お土産を渡しながらかつ岐阜県を紹介しました。お互いの国や農業のことを話した後、お互いに写真を撮り合い、全体の集合写真も撮りました。最後は私たちがFFJの歌を歌って交流会を終えました。		
9：00 GARTON TRACTOR	主に農業用機械を販売する会社を訪問、海外から輸入された機械も幅広く扱っていました。様々なメーカーで作られている、大きさや機能の違うトラクターを視察しました。よく売れるモデルは、年間に180～200台も販売されるということです。ブドウ畑用に車体を低くしたものやアーモンド用、クルミ用など用途ごとに仕様が工夫されていました。 小麦収穫用の機械はとて大きくて驚きました。価格も1600万や2500万など驚く金額でしたが、ここ15年くらいの間に、環境に配慮した仕様に変化したことで、その分価格は倍くらいになったそうです。 その他にも果樹園用の耕耘機や圃場の石を拾う機械、芝を刈る機械、スピードスプレーヤー、破碎機など多くの機械を見ましたが、どれも日本では見ることができない大きさでした。またGPSを活用して、プログラム通り作業をする機械、GPSとレーザーを活用して一定の高さに地ならしすることができる機械、センサーで収穫物の水分量や栄養素を測定してその記録を残せる機械などもあり、すごいと思いました。	 	
12：30 Sequoia & kings Canion National Park	標高1800mにある国立公園に行きました。とても大きなセコイアの木がたくさんありましたが、ところどころ枯れている木がありました。これは樹木の病気によるもので、ここ最近10年くらい発生が続いているそうです。また、山火事で焼けたところもあり、大きな木のほとんどは山火事に遭っていると聞きましたが、どの木も生き続けており、生命力の強さに関心しました。公園の中を歩き、木の中が空洞になっていて通れるものや、世界で2番目に大きい木も見ることができました。帰る途中で横たわった木の下がくりぬいてあり、そこを車が通れるようになっているところにも寄りました。帰り道もとても長かったですが、昨日までとは違う植物や景色を見ることができ勉強になりました。	 	
1日を終えて	早くもアメリカでの研修が最終日を迎えました。私が一番印象に残ったのは、GARTON TRACTOR（ガートン）の日本では滅多に見ることができない大型トラクターや農業機械でした。また、それが大きいだけでなく緻密であることを知ったときは、私のイメージと大きく違いとても驚きました。今後も自分のためになるように、視点をしっかり持って研修に望みたいです。 文責：五十川諒一		